

一般質問通告表

平成27年第7回沖縄県議会(定例会)

10月06日(火)

順位	時間	氏名(党派)	答弁を求める者
1	17分	儀間 光秀(維新の党)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 土木行政について</p> <p>(1) 小湾川河川事業について</p> <p>ア 現状と今後の計画について</p> <p>(2) 県道浦添西原線(港川道路)について</p> <p>ア 事業進捗状況について伺う。</p> <p>2 防犯カメラ設置状況について</p> <p>(1) 市町村との連携(計画)について伺う。</p> <p>(2) 公共施設等での類似県との設置状況比較について伺う。</p> <p>(3) 犯罪等の抑止力効果について伺う。</p> <p>(4) 初動捜査で防犯カメラの果たす役割について伺う。</p> <p>3 地域公共交通連携計画について</p> <p>(1) 施行後約8カ月になるが現況について伺う。</p> <p>(2) 地域との連携について伺う。</p> <p>(3) 効果検証の実施時期について伺う。</p> <p>(4) タクシー(空車時)のバスレーン利用の現状について伺う。</p>			

一般質問通告表

平成27年第7回沖縄県議会(定例会)

10月06日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
2	17分	當間 盛夫(維新の党)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
<p>1 沖縄県アジア経済戦略構想について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 国際競争力のある物流拠点の形成、課題と取り組みについて伺う。(2) 航空周辺産業クラスターの形成、課題と取り組みについて伺う。(3) 国家戦略特区の進捗状況と展開を伺う。(4) 那覇軍港及び自衛隊駐屯地等を活用した国際物流機能の拡充について展開を伺う。 <p>2 離島航路運航安定化支援事業について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 取り組み状況と今後の展開を伺う。(2) 各自治体の負担軽減で運賃低減化はできているのか伺う。 <p>3 泡盛業界の振興について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 移出数量、総売上高など泡盛業界の現状を伺う。(2) 特別措置酒税の単年度軽減額、累計軽減額を伺う。(3) 古酒の郷の取り組みと課題を伺う。 <p>4 養豚生産基盤強化について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 県内の養豚飼養状況について伺う。(2) 105億基金事業の実施状況と目標達成について伺う。(3) 養豚施設の移転整備による養豚団地の形成について伺う。 <p>5 道路行政について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 龍潭通りの取り組み状況を伺う。(2) 国道331号・垣花～瀬長交差点の渋滞原因と今後の取り組みを伺う。(3) 那覇空港道・小禄線の進捗状況を伺う。 <p>6 技能五輪全国大会・全国アビリンピックについて取り組み状況を伺う。</p>			

※最初の質問から一問一答方式を選択

一般質問通告表

平成27年第7回沖縄県議会(定例会)

10月06日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
3	17分	呉屋 宏(無所属)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 沖縄の雇用状況について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 現在の失業者は何名か。(2) 失業対策の現状はどうか。(3) 過疎化地域の雇用対策について現状を伺う。(4) 沖縄の1人当たりの県民所得推移は。 <p>2 観光行政について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 現在の観光入客数と今後の目標は幾らか。(2) 大型観光施設「MICE」やUSJ・那覇空港の第2滑走路の進捗状況を伺う。 <p>3 農林水産行政について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 農業大学の改築予定はどうなっているか。(2) 農林水産就業者とその将来像。 <p>4 高等学校教育の農林高校・工業高校・水産高校の進路について伺う。</p> <p>5 沖縄の産業構造についての所感を伺う。</p>			

※最初の質問から一問一答方式を選択

一般質問通告表

平成27年第7回沖縄県議会(定例会)

10月06日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
4	17分	新垣 安弘(無所属)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 知事の政治姿勢について</p> <p>(1) 72年の復帰と、その後の国の沖縄振興への取り組み、また県勢の発展等についてどのように評価しておられるのか知事の所見を伺う。</p> <p>(2) 戦後の我が国の安全保障政策と国民の安全保障に対する意識についての知事の所見を伺う。</p> <p>(3) 10月18日に陸上自衛隊第15旅団創隊5周年及び那覇駐屯地創設43周年記念行事が開催される。安全保障や防災に対する県民や国民の関心が高まっている中で、知事が出席の上、激励の言葉を述べられることは意義あることと考えるが対応を伺いたい。</p> <p>2 安全保障と危機管理について</p> <p>(1) 東アジアの安全保障環境の変化と本県に及ぼす影響についての認識を伺う。</p> <p>(2) 有事を想定した国民保護計画に基づく実働訓練について</p> <p>3 本島南部地域の農業について</p> <p>(1) 南部のサトウキビがうるま市の旧球陽製糖への搬入になった場合、工場や搬入業者、生産者にどのような影響が予想されるか。</p> <p>(2) 本島南部におけるサトウキビ農家の現状を伺う。</p> <p>(3) 南部地域の農地に占めるサトウキビの作付面積の割合を伺う。</p> <p>(4) 南部地域の主要な農業産出額を伺う。</p> <p>(5) 南部地区における農業法人設立と若者の就農状況を伺う。</p> <p>(6) 農地中間管理機構を通じた農地の集約の状況を伺う。</p> <p>(7) 翔南製糖が操業停止することによる南部の農業政策の見直しはあるか。</p> <p>4 公共交通としての鉄軌道の導入について</p> <p>(1) 鉄軌道導入における公設民営型「上下分離方式」について</p> <p>(2) 那覇から与那原町、那覇から八重瀬町へは地元から次世代型路面電車(LRT)の導入への強い要望がなされているが対応を伺う。</p> <p>5 太平洋島サミットについて</p> <p>(1) 第8回太平洋島サミットの誘致に向けての取り組みについて伺う。</p> <p>(2) JICA沖縄とも連携し、太平洋島サミットの事務局を本県に設置すべく取り組めないか。</p>			

一般質問通告表

平成27年第7回沖縄県議会(定例会)

10月06日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
5	17分	崎山 嗣幸(社民・護憲)	知事 関係部長等

質 問 要 旨

1 辺野古埋立承認取り消しについて

知事は去る9月16日、第三者委員会の検討結果を受けて、埋立承認は瑕疵があるとして、取り消しを表明した。県民との公約をしっかりと、着実に実行する知事の政治姿勢を高く評価し、その取り消しの理由と根拠を改めて伺う。

2 沖縄戦の被害実態調査について

政府は、これまで、太平洋戦争における戦争被害の実態から、沖縄戦の被害実態を覆い隠し、北海道から鹿児島までの46都道府県までの被害実態調査しか、公表していないことが判明した。これまで、県の援護課が公表している沖縄戦の被害者20万余の戦没者は、当時の人口比でのデータであり、1944年の10・10空襲や対馬丸、マリア等での死亡者は抜け落ちている。ところが、1993年の「平和の礎」の建立時の調査は、1931年9月から15年戦争の期間を調査しており、沖縄戦の実相を反映していると考えられる。よって、戦後70年の節目に「平和の礎」の実態調査を分析し、改めて、沖縄戦の実相に迫り、より正確な被害者数を把握し、公式な資料として、政府資料に記録させることを求めるべきではないか伺う。

3 首里城の県移管について

政府は、平成30年を目途に首里城公園国営部分の県移管協議を進めている。この首里城正殿など有料区域は、180万人の観光客が訪れ、年々、沖縄への入域観光客がふえるにつれ、首里城の入域客数も当然ふえてきている。現在、管理している美ら島財団は25.6%も増収益を上げ、営業料を受け取っている都市再生機構のあり方も問題がある。県は移管に際して初期投資の負担や維持管理費等の協議も進めているのか進捗状況を伺う。

4 離島振興について

- (1) 知事公約の離島観光交流促進事業の島たび助成事業が動き始めた、その実施内容を伺う。
- (2) サトウキビの生産育成について
サトウキビは、離島、過疎地域の重要品目である。離島の地理的不利益に加え、久米島、大東などは、雨も降らず、減産に歯どめがかからず、また、他の地域では、台風等、災害の影響でサトウキビの生産に不安定を醸し出している。県の対応策を伺う。
- (3) 那覇一粟国間の小型機が事故を起こし、運休となり、公務、学校、部活動、病院への通院等、島民の生活に大きな支障が起きている。村では、飛行の再開とフェリーの増便など、また、粟国港の静穏度の改修工事も強く求めている。県の対応策を伺う。
- (4) 離島児童生徒支援センターが近々開所する。那覇近郊の渡嘉敷、粟国や宮古の多良間、伊平屋、伊是名など高校未設置の島々(16市町村)から毎年15歳で島を離れ、離島と本島の二重生活を余儀なくされている。親の経済的負担、精神的負担などがあり、寄宿舎の建設が強く求められてきた。今回やっと、その寄宿舎が完成する。開所時期、運営要綱を伺う。
- (5) 離島生活コスト低減事業として、本島と離島間の輸送運賃、販売経費の一部を補助する事業の実績と今後の取り組みを伺う。
- (6) 台風9号の影響で、渡嘉敷村の防波堤が決壊し、フェリーが入港できず、1週間余も、生活物資が届かず、住民生活に大きな支障を来した。防波堤の改修とフェリーが接岸する防舷材の修繕はどうなっているか伺う。

5 米艦船のはえ縄切断について

米音響測定艦インペッカブルが沖縄のマグロはえ縄を切断してから1年余が過ぎた。しかし、米側はいまだに関与を認めず、損害賠償の目途すら立っていない状況にある。この海域はクロマグロの好漁場であり被害額も大きく、漁業者の生活に大きく影響を与えている。漁業

者は、船舶の安全操業と再発防止を強く求めている。県の対応策を伺う。

6 国場川河川の整備について

県は、国場川水系水と緑のネットワーク基本計画を策定し、明治橋から南風原の宮城橋に至る水系を治水対策だけでなく、親水性の河川計画をしている。そして、中流の一部では遊歩道を整備し、川を眺めながら、休憩がとれるバルコニーやオープンカフェ等を実現している。基本計画にあるように明治橋から宮城橋の上流まで、一体的に遊歩道として連結させることが水辺の散策路として完成することができる。しかし、現状は、一体性がなく、河川敷はほとんど草が生い茂り、散策できる状況ではない。整備実績と今後の計画を伺う。

7 我が会派の代表質問との関連について

一般質問通告表

平成27年第7回沖縄県議会(定例会)

10月06日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
6	17分	西銘 純恵(共産党)	知事 関係部長等

質 問 要 旨

1 知事の政治姿勢について

- (1) 沖縄防衛局の岩礁破碎許可申請に対する今後の県の対応について
- (2) 赤嶺衆議院議員の国会質問で、大臣が米軍基地内の戦没者遺骨は米軍に収集を要望する。遺骨情報の有無を県に伺うと答弁しました。キャンプ・シュワブ内の大浦崎収容所付近の遺骨収集について県の取り組みを伺います。
- (3) 辺野古の公有水面埋立承認申請を行った沖縄防衛局は、翁長知事の承認取り消しで埋め立ての法的根拠がなくなります。即刻工事を中止しなければならないと考えるが、見解を伺います。
- (4) 日本の立憲主義、平和主義、民主主義を破壊する戦争法廃止の「国民連合政府」を日本共産党の志位委員長が提案し、各界から賛同の声が寄せられています。知事の所見を伺います。

2 児童虐待死亡事件について

- (1) 若者の2人に1人が非正規雇用となり、低賃金、長時間労働の広がり、子育てを困難にする大きな要因となっています。県の児童相談所がかかわっていた3歳児童の虐待死亡事件をなぜ防ぐことができなかったのか、見解を伺います。
- (2) 本県の児童虐待の実態について、全国と比べてどうなっていますか。
- (3) 児童相談所の職員体制は緊急事案に対応できていないのではないですか。

3 沖縄県のひきこもりの実態はどうなっていますか。全国のひきこもり支援センターの設置状況と支援内容について。県がひきこもり支援センターを早急に設置することについて。

4 子宮頸がんワクチン被害の救済について

- (1) 被害者が救済を求めた要請に対する県の対応について
- (2) ワクチン被害の厚労省の検討内容は、従来救済できなかった沖縄県の被害者は救済できるのですか。被害者の精神的、経済的負担を軽減するために支援策を講じるべきではありませんか。

5 高齢者行政について

- (1) 無年金や低年金の多い沖縄県の健康長寿を目指した取り組みについて伺います。
- (2) 歩行困難な独居高齢者に行政の手が届かず、不自由なまま不安に暮らしている事例があるが、孤立死の実態はどうなっていますか。地域包括支援センターの設置や取り組み状況、及び拡充することについて

6 抜本的な子供の貧困対策を行うために、全国初の沖縄県の貧困調査が期待されています。子供の貧困調査はどのように取り組まれているか、進捗状況を伺います。

7 待機児童の解消は認可保育園で行うべきだが、増設計画を伺います。県は新設の認可保育園を保育士の正規雇用6割にしているが、既存の正規率はどうですか、原因は何ですか。当面、全ての認可園で正規雇用を6割以上に引き上げるための県の支援策を伺います。

8 浦添市の国立劇場周辺を郷土芸能、文化発信・交流の地域として位置づけ、県立郷土劇場の建設を急ぐことについて、進捗を伺います。

9 教育行政について

学力テスト順位競争のための過去問題学習や点数競争をあおる教育ではなく、教師の多忙化解消で子供と向き合いどの子にも行き届いた教育を実現する学校づくりが必要と考えます。

- (1) 少人数学級の拡大は次年度の計画でどうなっていますか。
- (2) 過労死の目安とされる月80時間を超えている教師の人数と割合は全国に比べてどうですか。病休と精神疾患の人数と割合は全国と比べてどうですか。改善策を問います。
- (3) 給付制の奨学金制度の来年度の募集に向けて、募集内容と取り組みはどうなっていますか。

10 軍港移設問題について

- (1) 浦添新軍港は、米軍と自衛隊の訓練、攻撃基地になるのではないですか。
- (2) 現那覇軍港の専用面積と水深や機能について、浦添新軍港の形状、面積、機能、艦船の回転水域などはどうなっていますか。
- (3) 公約を破って浦添新軍港受け入れを表明した浦添市長が、浦添新軍港の位置変更を提案したことに対し、那覇港管理組合は民間港湾に支障があると明言しています。県の対応について

11 那覇港の国際コンテナターミナル事業からフィリピンの港湾施設運営大手会社が撤退しました。国際貨物取扱量の不振が理由だが、計画が過大ではなかったのですか。国際貨物の計画に対する実績と達成率、トランシップ貨物の計画に対する実績と達成率について

12 9月16日付ジャパンタイムズ電子版が1993年の米軍文書で、キャンプ・キンザーに「重金属と殺虫剤による環境汚染の証拠があると明記している」と報道しました。先日、キャンプ・キンザー周辺でPCB汚染のハブが発見され住民を不安に陥れています。早急に、基地内の土壌、水質、倉庫内の立入汚染調査を要求して、環境補足協定の実効性を問うべきです。

13 我が党の代表質問との関連について

※最初の質問から一問一答方式を選択

一般質問通告表

平成27年第7回沖縄県議会(定例会)

10月06日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
7	17分	新垣 清涼(県民ネット)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 犬・猫殺処分ゼロの取り組みについて</p> <p>(1) 沖縄県の近年の犬・猫殺処分数の推移と殺処分ゼロを目指した取り組みとその成果を問う。</p> <p>(2) 犬・猫殺処分ゼロを目指す年次的な計画を問う。</p> <p>(3) サクラ猫事業の取り組みについて県及び市町村の取り組みを問う。</p> <p>2 沖縄県人口増加計画・沖縄21世紀ビジョンゆがふしまづくりについて</p> <p>(1) 本県の人口動態の現状と傾向はどうなっているか問う。</p> <p>(2) 人口減少につながる要因は何か問う。</p> <p>(3) 子育て支援が重要と思うがその対策を問う。</p> <p>(4) 保育所入所待機児童の解消計画を問う。</p> <p>3 基地問題について</p> <p>(1) 沖縄の米軍基地跡地利用の問題点について</p> <p>ア 日米環境補足協定が締結されました。その協定は県の要求を満たしているのか、問題はないか問う。</p> <p>イ これまでに返還された米軍基地の使用履歴は明らかか問う。</p> <p>ウ 沖縄市のサッカー場の環境汚染問題について問う。</p> <p>(2) キャンプ瑞慶覧返還用地の跡地利用について</p> <p>ア 政府要請の趣旨は何か。その成果は。</p> <p>イ 沖縄の米軍基地は、東洋のかなめ石という表現がある一方、米軍の東洋のごみためという表現もある。なぜか。</p> <p>ウ 支障除去についてどのような計画で進められているか問う。</p> <p>エ 沖縄市はWの調査が行われその数値に違いが出ました。県が主体的にかかわることが求められていると思う。その体制を問う。</p> <p>4 県産泡盛出荷状況の現状と推移、今後の課題について</p> <p>5 我が会派の代表質問との関連について</p>			

一般質問通告表

平成27年第7回沖縄県議会(定例会)

10月06日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
8	17分	比嘉 瑞己(うまんちゅの会)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
<p>1 安全保障関連法と沖縄について 安倍政権は国民的反対の声を押し切って、戦争法とも言われる「安保法制」を強行成立させた。法案審議の中で、自衛隊トップの河野克俊統合幕僚長と米軍首脳の会談記録が内部文書によって明らかになった。</p> <p>(1) 統合幕僚長は、知事選挙結果について「普天間移設反対の知事が就任したが、辺野古への移設問題は政治レベルの議論であるので方針には変更はないとの認識である。安倍政権は強力に推進するであろう」と述べている。また、「オスプレイの不安安全性をあおるのは一部の活動家だ」とも述べている。いずれの発言も、沖縄県民の民意を敵視し、事実をゆがめる発言であり許されるものではない。知事の見解を伺う。</p> <p>(2) 統合幕僚長は、「辺野古への移転やキャンプ・ハンセン、キャンプ・シュワブでの共同使用が実現すれば、米海兵隊と陸上自衛隊との協力が一層深化すると認識している。これにより沖縄の住民感情も好転するのではないかと述べている。在沖米軍基地と自衛隊の共同使用・共同訓練は、新たな基地負担の激増、基地の恒久化につながるものであり許されない。見解を伺う。</p> <p>(3) 日米合同軍事訓練強化が進む沖縄において、文民統制を逸脱する自衛隊トップの発言に、「戦前回帰のようだ」、「また戦争に巻き込まれるのでは」と危惧が広がっている。戦争法成立と沖縄への影響について見解を伺う。</p> <p>2 知事の政治姿勢について</p> <p>(1) 辺野古新基地建設をめぐる政府との集中協議は、沖縄の主張を理解しようとしぬ政府の姿勢が明確となり決裂となった。知事は菅官房長官に「お互い別々に今日まで生きてきたんですね。戦後70年間」と述べたそうだが、発言に込められた真意について伺う。</p> <p>(2) 翁長知事は、埋立承認「取り消し」表明の記者会見の中で、仲井眞前知事の埋立承認について「胸がかきむしられる思い」を述べた。そして続けて、「同じウチナーンチュがやったことだから、一緒になって反省の中から、私たちがまた強く、これからの沖縄の未来を背負う子や孫に責任をとれるような、そして沖縄県をふるさととして誇りに思えるように」、「これからの一連の作業で取り戻していきたい」と述べている。沖縄県民の誇りを取り戻していく知事の決意を改めて伺う。</p> <p>3 那覇市への特別支援校設立について 養護学校が義務化されて35年が経過したが、県都那覇市にはいまだ知的障害児を受け入れる県立特別支援学校が設立されていない。子供たちの教育環境を整備することは県の責務である。見解を問う。</p> <p>4 図書館行政について 図書館法はその第1条で「国民の教育と文化の発展に寄与することを目的とする」とし、第3条では「更に学校教育を援助し、及び家庭教育の向上に資することとなるように留意」と、図書館奉仕を定めている。</p> <p>(1) 県民1人当たりの貸出件数、蔵書数、図書予算はどうなっているか。「読書県おきなわ」の実現に向けての取り組みを問う。</p> <p>(2) 新県立図書館基本計画の概要を問う。</p> <p>(3) 現県立図書館の跡地利用計画を問う。那覇市とも連携して真和志地域の人々の要望も踏まえた基本構想を策定すべきである。今後の計画について問う。</p> <p>5 保育行政について</p> <p>(1) 待機児童解消のために必要な保育士は何人か。</p>			

- (2) 保育定員に不足の保育士は何人か。
 - (3) 保育士不足や非正規雇用率の高さが深刻である。その要因は何か。
 - (4) 保育士確保や待遇改善のために「保育士住居支援制度」を導入すべきである。課題と見解を問う。
- 6 公共交通政策について
- (1) 総務企画委員会が視察したウィーン市では、地下鉄やバス、次世代型路面電車(LRT)などの交通政策を総合的に推進していた。沖縄県においても、南北縦断鉄軌道計画と同時進行で、次世代型路面電車計画を推進すべきである。見解を問う。
 - (2) IC乗車券OKICA導入後の実証結果からどのような成果や課題が見えたか。公共交通利用促進のためにも「乗り換え割引」の実現は急務であると考えるが、見解を問う。
- 7 離島観光振興計画について
- (1) 沖縄21世紀ビジョンで掲げる「世界水準の観光リゾート地」の実現に向けて、第5次沖縄県観光振興基本計画が策定されている。2021年度(平成33年度)の入域観光客総数を1000万人に目標を掲げているが、離島観光客の目標計画と推移はどうなっているか。課題と対策について問う。
 - (2) 久米島は独自の自然・景観、伝統・文化を誇る島である。修学旅行や団体旅行客の入域状況はどうなっているか。空路・航路などの交通網を整備して、さらなる観光産業の振興に努めるべきである。課題と対策を問う。
- 8 グラウンドゴルフの振興について
- 県内各地で日常的に楽しまれているグラウンドゴルフは、子供から高齢者、障害者まで全ての人々が楽しめるファミリースポーツである。県民の生涯スポーツとして、グラウンドゴルフへの支援を行うべきである。また、全国大会や県主催の大会などグラウンドゴルフの振興に努めるべきである。知事の見解を問う。